

植物

主筆

牧野富太郎

植物研究雑誌**第八卷 第一號**

(通卷第 七十一號) 昭和七年(1932) 一月廿五日 東京 津村研究所出版部 發行

○我ガ『植物研究雑誌』ノ回顧

牧野富太郎

回顧スレバ今ヲ距ルコト最早ヤ十有六年ニモナル大正五年四月五日ニ我ガ此『植物研究雑誌』ハ實ニ其創刊號ノ卷頭ニ掲ゲタ左ノ序文ノ趣旨ヲ以テ始メテ此世ニ生レ呱々ノ聲ヲ揚ゲタノデアル

○本誌發刊ノ辭

本誌ハ時代之ヲ生メリ我邦ノ現時ハ吾人ヲシテ寸時モ放漫退嬰苟且偷安ヲ許サザルナリ吾人ハ國民タルノ名譽トシテ又學ニ勤ムル者ノ常道トシテ我大日本帝國ヲシテ將來世界ノ中心タラシメンガ爲メニ勇邁奮進益隆盛ノ域ニ進ムルノ策ヲ講ゼザルベカラザルコト固ヨリ論ヲ俟タズ吾人ノ斯ク論ジ且行動スルハ之ヲ以テ切實ニ國家ニ對スル我義務本分ナリト信ズレバナリ徒ニ花鳥風月ニ醉ヒ空文浮辭ヲ弄シテ閑日月ヲ送ルガ如キハ是レ我輩ノ事ニ非ザルナリ予ハ之レガ爲ニ實ニ既往三十餘年ノ長月日間敢テ自家ノ利害ヲ顧慮セズ敢テ自家ノ毀譽褒貶ヲ度外ニ措キ惡戰ニ次グニ苦鬪ヲ以テシ今日尙依然トシテ甲裝ノ一卒タリ今茲ニ新ニ一ノ武器ヲ作リ之ヲ把リテ以テ更ニ事ニ戰場ノ馳驅ニ從ハント斯所謂武器トハ本誌即チ是ナリ今此武器ノ出ヅル實ニ現下ノ状勢之ヲシテ然ラシムルナリ故ニ曰ク本誌ハ時代之ヲ生メリト而シテ予ガ家久シク貧ニシテ日常給セズ豈ニ出版費ノ

餘裕アランヤ而カモ我抱負ヲ行ハントスルノ念遂ニ自ラ抑フベカラズ偶マ一人士ニ遭ヒ
乃チ賴リテ少額ノ資金ヲ得以テ僅ニ之ヲ上梓シ得タリ冀クハ四方ノ諸賢幸ニ予ガ心事ヲ
諒セラレンヨトヲ之ヲ發刊ノ辭トナス

大正五年一月

東京ニ於テ 結網學人 牧野富太郎 識ルス

右ノ序文ニ見エタヤウナ意氣ヲ以テ期メタ此雑誌モ其文中ニアルヤウニ發刊當時既ニ其出版費ニ窮シテ私ハ之
レヲ一知人ニ借リ受ケ辛フジテ其第一號ヲ發行シ得タ次第アツタ、其知人トハ及川智雄氏ト云フ人デアツテ
同氏ハ此私ノ希望ニ副フテ其費用ヲ支出シ吳レタガ數年前ニ故人トナツタ

第二號カラ自分デ其出版費ヲ負擔セネバナラナクナツタノデ其間イロノ工面シテ其レヲ辨ジ兔ニ角其第一卷
ヲ第十二號マデ續ケタガ貧乏ノ私ニハ到底其レヲ續刊スル事ガ極メテ困難デアツタ、然シ其際私ハ決シテ落膽
ハシナカツタ、其レハ此雑誌ニ就テ或ル自信ヲ持テキタカラダ、ソシテ何トカ成ランモノカト考ヘテキタ、會
マ其時分ニ私ノ窮状ヲ救助シ下サツタ神戸市ノ池長孟氏ガ其出版費用ヲモ負擔セラレシ爲メ幸ニモ此雑誌ノ命
ガ續イタノデ私ハ同君ニ對シ偏ヘニ感謝シテキタ

其後或ル事情ガアツテ右池長氏ノ支出ガ途切レ頗ル困惑シテキタ處ヲ有益ナ雑誌デアルト云フノデ成蹊學園長
ノ中村春二先生ノ貴イ同情ニヨツテ救ハレ再ビ花咲クベキ春ヲ非常ニ喜ンデキタ、其レガ彼ノ大正十二年九月
一日大地震ノ直前デアツタガ其時私ハ本誌ノ更生ヲ喜ンデ新ニ其題號ヲ『植物ノ知識ト趣味』ト改メ(次頁ヲ見
ヨ)其一號ヲ印刷シタガ其印刷ガ出來上ツタ刹那只僅カニ見本トシテ其十部ヲ私ガ受取ッタノミデ他ノ全部ハ
彼ノ大震災ノ爲メ其印刷所ナル三秀舎(東京市神田區美土代町二丁目)デ同舍ノ焚蕩ト共ニ燒失シテ痕ヲ留メナ
カツタ、之レト同時ニ同舍ニ保存シテアツタ本誌創刊號ヨリノ紙型モ亦全部烏有ニ歸シテシマツタ、加之不幸ニ
モ其後間モナキ中村先生ノ逝去ニ會ツテ復タ其出版ガ頓挫シ私ハ複ビ苦勞セネバナラナクナツタ

然カモ天ハ尙ホ私ヲ見捨ナカツタ、大正十五年（間モナク昭和元年ト改元）幸ニモ薬學博士朝比奈泰彦先生、貴

學博士朝比奈泰彦先生、貴族院議員津村順天堂主人津村重舍氏ノ深厚ナル高誼ニ

ヨリ又津村良平氏ノ同情ヲ
モ得テ暗中ニ一道ノ光明ヲ
見出シ其發行ヲ今日並ニ今

日後ニ繼續シ得ベニ幸禱テ
得ルニ至ツタノハ私ノ最モ
感激ノ至リニ堪ヘヌ所デア
ツテ又傍ラ久内清孝、木村
雄四郎兩氏並ニ其他ノ御方
ノ不斷ノ力添ヘヲモ感謝シ

當ツテキル次第デア化

又一方デハ投稿者諸賢ノ御
援助ノ御蔭ヲ以テ有益ニシ
テ且興味アル内容ヲ此雑誌
ガ有シテ其レガ讀者ニ歡迎

セラル、結果トナツテキル事ヲ思ヘバ是レ亦其方々ニ對シテ厚ク御禮ヲ申シ上ゲネバナラスト思ツテキル

我が『植物研究雑誌』ノ回顧



大正十二年八月十五日發行ノ本誌改題號ノ表紙（縮小）

今此雑誌ノ創刊號カラ前號ノ第七卷第十號マデヲ眼前ニ駢ベテ熟ラ之レヲ眺ムル時私ハ過去ヲ追想シテ轉々感概ノ禁ズベカラザルモノガアルト同時ニ能クマ一此レマデ發行シ了ヘタト何トナク嬉シイ感ジガ起ツテ來ルガ其剎那ニ想ヒ起スノハ此雑誌ヲ助ケテ下サツタ前記ノ人々デ此等ノ方々ノ深イ同情ガアツタレバコソ其出版ガ今日マデ續イテ此好結果ガ贏チ得ラレタト私ハ其人々ニ對シテ深甚ナル感謝ノ念ガ油然トシテ湧イテ來ルノヲ禁ジ得ナイ、其レ故今後モ常ニ努力シテ其刊行ヲ繼續シ以テ學問ノ爲メニ馨スノハ即チ仁俠アル此等ノ人々ノ恩ニ報ユル所以デアルト確信スルノデ私ハ一層奮勵シテ事ニ當ランコトヲ庶幾フテ止マヌノデアル

○蓄軒獨語(其四十一)

蓄軒朝比奈泰彦

○邦產粉果地衣ノ種類

Notes on Japanese Coniocarpineae.

本邦產粉果地衣ハ NYLANDER ガ四種ヲ擧ゲテ居ル、其後 FAURIE ノ採品テ HUE ャ ZAHLBRUCKNER ノ鑑定ニナルモノ若干アルガ吾國ニハアマリ知ラレテ居ナイ、拙著日本地衣「フローラ」ノ資料デ數種ヲ記述シタガ種名ノ未定ナモノガ多カツタ、今本號ノ歐文欄デ十四種ヲ記載シタコレガ本州ニ於テ採集サレタ總數デ此他小笠原島、臺灣ニハマダ若干ノ珍種ガアルガソレハ他日ニ讓ル、粉果地衣ハ形體ガ微小デアルノデ通常ハ見逃サレテ居ルガ粘菌採集家ナドハ時々遭遇サル、コト、思フ

1. *Chaenotheca stemonea* (Ach.) MÜLL. ARG. じふきほんじんじく(粉霜細ピン苦)コレハ資料デ No. 35. *Conioctye gracilenta* Ach. (ぬかじけ)トナツテ居ルモノデアルガ其後各地デ完全ナ標本ヲ得テヨク調査シタ結果訂正スベキモノト考ヘタ、記載及圖ハ同書ニ詳シイ、主トシテ杉皮ノ破目ニ生ズル、伊豆(三島、大仁)、武藏